

みなとヨコハマにカジノはいりません

福祉と若者・子育て支援の市政に変えましょう



日本共産党

三七歳

宇佐美 さやか

私は生まれ、育ち、暮らしている横浜が大好きです。今、横浜市は、山下公園の先にカジノの誘致をすすめています。カジノは賭博です。ギャンブル依存症や青少年に悪影響を与えます。

横浜市には中学校給食がありません。介護施設も不足しています。また、将来に希望が持てない非正規雇用の若者も多く、暮らしにくい面があります。

誰もが安心して暮らせるまちにするために、一緒に市政の流れを変えましょう。

みなさんの願いを市政に届けます

子育て支援：認可保育園の増設

と学童保育の充実、小児医療費無料化を中学卒業まで、中学校給食の実施、三五人学級の拡大

地域経済の活性化：最低賃金を千円以上に、同一労働同一賃金の確立、住宅リフォーム助成制度・公契約条例制定

安心の福祉：国保料と介護保険料の引き下げ、特養ホームの増設

安全・安心のまちへ：住まいの耐震化促進、崖地対策、住宅密集地の防火対策

議会改革：議員報酬の引き下げ、政務調査費の領収書のネット公開

宇佐美さやかさんを市会に送り出してください

衆院議員 畑野君枝

プロフィール 1977年港北区生まれ。私立橘学苑高等学校卒。学業以外に農業、身体障がい者福祉、舞台表現などを学ぶ。羽沢町に在住。家族は夫と2人。事務所：西神奈川3-2-17

横浜から安倍政権の暴走ストップ！

「戦争する国づくり」を許さない。消費税増税中止。原発ゼロ社会へ。企業・団体献金の禁止、政党助成金の廃止。

日本共産党の躍進で

宇佐美さやか

地域の防災力の向上へ



維新の党公認

田村まさひと

東日本大震災から4年が経ちましたが、このような大規模な災害はまたいつどのような形で起こるか分かりません。地域住民の命を守るための防災、減災は重要な政策課題です。

「公助」「自助」「共助」の三つの基本理念のうち「共助」の力を強化し地域の防災力を向上させる必要があると考えています。

大規模災害発生直後には消防、警察などが全ての現場に入ることはできません。この時に重要なのは地域住民が初動で行う避難、救助活動です。この「共助」の力が特に必要であり中心となるのが消防団、自治会などの自主防災組織です。

私は地域の皆様が安心して暮らせる街づくりを目指してまいります。

1 行財政改革

- 外郭団体は民営化・廃止をゼロベースで見直し
- 総人件費の削減
- 監査制度の見直し

2 議会をインベーション

- 議会基本条例の見直し
- 政務活動費の見える化
- 議会活動の見える化

3 教育・子育てを

インベーション

- 中学校給食の実現
- 経済格差による学力格差解消へ
- 小学校英語教育へのフォニックスの導入

4 まちづくり・観光・経済を

インベーション

- パイオ分野に特化した企業誘致
- 東京オリンピックを契機にした事業についての見直し
- 老朽建築物・空家のリノベーションによる地域再生と賑わい創出

5 健康・福祉を

インベーション

- 青少年の自立支援の拡充
- 喫煙禁止モデル地区の拡大・普及
- 孤独死を減らすための警察・区役所・各種サービスの連携

プロフィール

- 昭和41年8月22日生まれ
- 神奈川区斎藤分町在住
- 法政大学第二高等学校
- 法政大学経済学部卒業
- 神奈川消防団員
- 維新の党 県政策委員
- 妻子二人

- 推薦人
- 維新の党代表 江田憲司
 - 維新の党最高顧問 橋下 徹

20年間 福祉の現場で活動してきました

渡部 允

ジャーナリスト、元神奈川新聞論説副主幹

湯浅 一郎

NPO法人ピースデポ代表

神田 光枝

福祉クラブ生協
神奈川世話焼きW.Coこすもす理事長

蟹沢 道子

神奈川ネットワーク運動 元神奈川県議会議員

工藤 恒子

神奈川ネットワーク運動 元横浜市会議員

私たちが
推せん
します

中尾のぶ子の政策

子どもがいぎいき育つまち

- 身近な場所で、一時保育や小規模保育を進めます。
- 短時間勤務でも保育所を利用できるよう基準を緩和します。

高齢になっても、障がいを持っても住み続けられるまち

- 在宅高齢者の生活を支えるサービスを充実させます。
- 高齢者が気軽に集える居場所づくりを進めます。

多様な働き方ができるまち

- 非営利市民事業（NPO や W.Co など）の支援を進めます。
- 中間的就労や就労訓練に取り組む企業・NPO の支援を進めます。

安全な環境を作るため地域から取り組むまち

- 市民が食の安全性を判断できるように食品表示を変える取り組みを進めます。
- 脱原発に向けて、中小企業などへの省エネ・節電対策の支援を進めます。
- 子どものアレルギー問題を解決するための安全基準をつくります。

軍事によらない平和な社会を地域からつくるまち

- アジアの市民・自治体との民際交流を進めます。
- 横浜市非核・平和都市宣言条例の制定をめざします。



神奈川ネットワーク運動
なかお
中尾のぶ子
こ

42才

プロフィール

- 1972 神奈川県横浜市保土ヶ谷区生まれ
 - 1991 神奈川県立商工高等学校 情報処理科卒業
 - 1994 福祉クラブ生協 神奈川世話焼き W.Co こすもす加入
 - 2005 同 W.Co こすもす理事長（～2008年）
 - 2008 神奈川県立みどり養護学校 PTA 副会長（～2010年）
 - 2011 神奈川ネットワーク運動 市民自治をめざす神奈川の会 副代表
- 家族 / 夫、娘、息子 羽沢町在住

少なく消費して 心豊かに生きる

経済再生 生活再建 財政再建

暑い日も、寒い日も四年間。街頭活動日本一へ

2014年横浜市議会最多登壇 (第二質問登壇を除く)



横浜市会議員

平野かずゆき

39歳

二期目へ挑戦

地域活動最大化

- ・住民相談対応の最速化と解決率ナンバワンへ
- ・街頭活動圧倒的ナンバワンへ
- ・市政相談会開催数ナンバワンへ

市議会重点政策

- ・シンガポール、ドイツ、北欧並みの保育、教育
- ・給食、小児医療費などの制度変革による共働き世代負担軽減
- ・アジアでの都市間競争力強化で経済成長
- ・キャリアアップ支援と起業促進で、賃上げ
- ・老若男女平等社会推進による自治機能・労働力強化
- ・シニアパワーで医療費抑制と健康寿命最大化
- ・財政再建のための監査の強化、不正会計撲滅へ
- ・議員定数大幅削減、人件費大幅削減
- ・政務活動費支給制度を廃止し、実費負担制度への移行を
- ・献金は、もらわず、要求せず、必要とせず

主なプロフィール

法政大学卒、上場企業事業開発部課長
マーケティング会社を起業、経済評論家としても活動
専門は経済・経営、著書6冊他

2期目にチャレンジ!!

もっと嬉しい横浜へ。さらに取り組みます。

取り組み
1

地方分権をさらに国に求めて、地方主権社会を実現。同時に区役所に権限を委譲し、地域で抱える課題をスピーディーに解決する神奈川区政の実現に取り組みます。

取り組み
2

「横浜市議会基本条例」の制定に基づき議会や議員の役割を明確にし、地域に身近で理解される横浜市会にするために、さらなる議会改革に取り組みます。

取り組み
3

施設介護から在宅介護の転換。安心して受けられる横浜独自の在宅介護制度を確立する福祉社会の実現に取り組みます。

取り組み
4

横浜の将来を担う子どもたちのために4月からスタートした子ども子育て支援制度の着実な施行と、放課後児童育成や保育等、地域で育てる社会の実現に取り組みます。

取り組み
5

消防団員の経験を活かして、地域の特色を活かした新たな防災・減災のシステムを構築する災害に強い横浜の実現に取り組みます。

取り組み
6

公共建築物の老朽化対策は喫緊の課題です。新たな資金調達で維持・保全に取り組みむと同時に防災の観点に立って電線の地中化(無電柱化)100%を目指す社会資本整備に取り組みます。



自民党公認

ふじしろ
哲夫 35才

ふじしろ哲夫プロフィール / 昭和54年12月6日生まれ(35歳) ●平成23年横浜市議員 初当選●自民党横浜市連青年局 幹事長●自民党神奈川区連合支部幹事長【地域】●神奈川区サッカー協会会長●城郷少年少女ソフトボール連盟会長●神奈川県トランポリン協会副会長●NPO法人ライフネットスポーツクラブ副理事長●神奈川区ソフトボール協会顧問●神奈川区ソフトテニス協会顧問●神奈川区生活衛生協議会顧問●神奈川区商店街連合会顧問●おおくち通商店街協同組合総務委員●神奈川消防団第9分団団員●自衛隊募集相談員●一般社団法人横浜青年会議所会員 他

オフィシャルHP www.fujishiro-tetsuo.com/

暮らしを守る。
いのちを守る。

竹内やすひろは、実現してまいります！

- プレミアム付商品券で地域経済活性化
(1万円で1万2千円分利用可能)
- 地域包括ケアシステム
(医療・介護・障がい)の構築を推進
- 教育・文化芸術・防災による国際交流の推進

実現しました！

- 市立中学校に「横浜型スクールランチ」の導入
- 小児医療費助成の大幅拡充(10月から小学校3年生まで)
- 市立小中学校の耐震化100%達成！
エアコン設置完了
- 緊急輸送路の整備を推進
- 災害時の飲料水確保策を充実
- 特別養護老人ホームの整備を推進
- よこはまウォーキングポイント事業で市民の健康を推進

竹内
やすひろ
プロフィール

- 昭和35年6月10日生。54歳
- 東海大相模高、産業能率大卒、民間企業に21年勤務
- 公明党神奈川県本部企業局長。防災士
- 現在、横浜市議員1期
- 妻、3女の5人家族

竹内やすひろのホームページ <http://takeuchi.180r.com/>



公明党 公認

やすひろ
竹内

Daisuke
Nakayama



プロフィール

- 昭和50年 [1975年] 8月23日生
平成 3年 市立船橋高校入学
平成 5年 全国高校野球選手権に春・夏
出場(夏の甲子園 ベスト4)
平成 6年 國學院大學文学部文学科入学
平成 10年 シダックス株式会社入社
平成 11年 社会保険横浜中央病院入職
平成 17年 日本大学大学院グローバル・
ビジネス研究科
医療経営コース入学
平成 15年 市会議員選挙当選(市会最年少)
平成 19年 市会議員選挙当選(2期目)
平成 23年 市会議員選挙当選(3期目)

【議会歴】

- 市会運営委員会 理事
水道交通委員会 委員長
建築都市整備道路委員会 委員長
まちづくり調整・都市整備委員会 副委員長
経済観光・港湾委員会 副委員長

【特別委員会】

- 基地対策特別委員会 委員長
青少年市民スポーツ特別委員会 副委員長
少子高齢化社会特別委員会
等委員を歴任

4期目も全力投球!!

中山だいすけ

私の目標

- 中学校昼食の導入
- 医療福祉の充実
- 財政の健全化
- 地域公共交通の充実

住民本位の市政の実現を訴え市会最年少
当選から十二年が経過。
市民目線の活動を第一に、初当選から駅
頭や街頭で皆さまのお声を謙虚に受け止
め、清廉潔白をモットーに活動を行って
きました。
医療・福祉・子育て・教育等の諸問題に対
し、皆さまのご期待に応えるべく、まっ
すぐに取り組んで参りたいと思っていま
す。四期目も全力投球致します！

推薦・支持
します!

連合神奈川・区食品衛生協会
神奈川区医師会・歯科医師会・
薬剤師会



民主党公認 (39才)
なかやま
中山だいすけ

住んでよかったと思える街、未来に誇れる街、神奈川区の実現へ
横浜の将来に責任ある提言を

営 業 活 動 の 経 験 を 市 政 に 活 か し ま す

まちの安全、市内経済の活性化と未来。

●延焼拡大を食い止めへ

横浜における地震災害の教訓は、阪神大震災です。発災後、多発する火災が想定され、燃えにくいまちへ「木造密集市街地の建物不燃化」「救急・輸送物資を支える道路網の構築」を推進します。

●自然災害に強いまちへ

市内には崖地が9815カ所もあり、地球温暖化による局地的な集中豪雨が発生し易く、水害や崖崩れ防止対策に取り組めます。

●中小企業へ

市内企業の99%は中小企業です。市内経済の活性化へ、多様な要望にきめ細かく対応した中小企業支援体制を促進させます。

●子ども達へ

子供の成長段階や家庭環境に応じた支援策の充実と地域が積極的に子どもの成長に関わる仕組みをさらに推進させます。

経歴	●昭和31年 神奈川区六角橋で生れる ●神大寺小・六角橋中・日本大学高等学校・日本大学短期大学部卒 ◎平成25年 横浜市議員初当選
----	---

建設業の経営と永年の地域活動に期待し、2年前、市議員補欠選挙で私たちが指名されました。自民党の災害対策の戦力として期待以上の活躍に、「横浜の安心・安全づくり」を、託せる人材です。

自民党神奈川県連会長 小此木 八郎

自民党横浜市連会長 松本 純

内閣官房長官 菅 義偉



自民党公認

こまつ のりあき

小松 範昭